

# 春日小学校 学校運営協議会だより

令和3年6月30日  
発行 春日小学校  
学校運営協議会事務局

## 【学校運営協議会とは…】

教育委員会や校長の責任の下、地域と学校をつないで、地域全体で子どもを育てるために、学校の教育活動を支援し、評価し、提言や助言等を行っていく組織です。学校運営協議会が設置されている学校を「コミュニティースクール（略称：CS）」と言います。春日小学校の学校運営協議会は、2012年に設置されました。

令和3年度の春日小学校学校運営協議会委員は、校長の推薦を経て、上越市教育委員会から以下のように任命されました。よろしくお願いたします。

氏名	役職等	氏名	役職等
村山 学	会長	山崎 美枝子	委員
小山 郁恵	副会長・支援本部 Co	角張 修	委員
太田 一巳	事務局長・支援本部 Co	小林 恵	委員
小林 桂	事務局次長	山谷 由美子	委員・支援本部 Co
富樫 徹	事務局次長・教頭	加藤 仁	委員・支援本部 Co
小林 榮	委員・支援本部 Co	飯塚 貴之	委員・支援本部 Co
長谷川 正幸	委員	星野 浩一	委員・校長

※ 「支援本部 Co」は、「学校支援本部コーディネータ」のことです。

新委員が任命され、令和3年度 第1回春日小学校学校運営協議会が5月25日（火）に開催されました。主な内容を報告いたします。

星野校長から、教育目標「やさしく かしこく たくましく」について、子どもたちの姿として、実現していくために、3つのキーワードから次のように説明がありました。

☆ みんなの力で創る

☆ 一人一人の子どもを心からかわいがる

☆ 失敗も糧に

人と人との関わり、ふれあいが希薄になっていく社会環境にある中、今こそ、地域のネットワークを活かして、フットワークよく、チームワークをもって、課題解決に取り組み、地域の中で子どもを育てる真のコミュニティースクールにしていきましょう。そして、人権感覚や人を愛するということについての人間性の土台を家庭・地域・学校で育てていきましょう。そのためにもチャレンジすることを大切に、目先の結果にこだわることなく、「なぜ、どうして」と共感的にともに考えながら、子どもを真ん中に、子どもも教師も親も、ともに育っていくことを大切にして学校を運営していきます。そして、「ひと・もの・こと」とのかかわりを「人間形成のための大切な出会いの原点」となるよう充実したものにしていきます。

委員は、校長の学校運営の説明を頼もしく、また、そのリーダーシップに期待しながら、惜しみない支援をしていくことを確認しました。

裏面へ続きます

春日小学校学校運営協議会では、学校支援本部を置き、委員が支援本部のコーディネータの役割も担い、学校の教育活動を人材や必要とされる専門性等から支援しています。今回の会議では、校長の学校運営の承認とともに、4月19日（月）に行われたカリキュラム検討会を踏まえた学校からの当協議会や支援本部への要望について説明があり、具体的な支援等について意見交換が行われました。

※「カリキュラム検討会」とは、年度の初めに、1年間の学校の教育活動について、学校支援本部のコーディネータを交えて、学年ごとに話し合う会です。その中で、具体的に子どもたちの学びや活動をイメージし、人材や環境など支援を必要とすることや地域として支援できることについてコーディネータの助言を得ながら、考え合い、教育活動を形作っていきます。

#### 【主な要望内容】

学年等	支援を受けたい内容や地域と関係する活動
学校全体	・中学校区あいさつ運動への協力（9月下旬）
学校全体	・持久走記録会での安全確保のための見守り（10月下旬）
1年生	・交通安全教室での指導補助（5月 済み） ・ヤギの稲わら調達（9月以降） ・昔の遊びを通じた交流（1月）
2年生	・畑での野菜栽培への指導や補助（1・2学期）
3年生	・春日小学校の歴史や春日地区のお祭りなどについての指導（7月） ・春日山の生き物についての指導（2学期）
4年生	・春日山城址での松葉かきへの子どもたちの参加についての支援（1学期） ・謙信公祭の歴史についての指導（1学期） ・おもてなし武将隊との交流（1学期）
5年生	・裁縫指導の補助（1学期） ・稲作の指導や補助（1・2学期） ・農業についての講話や生産者へのインタビューへの支援（1学期）
6年生	・防災学習について（通年）

すでにコーディネータを中心に地域の人材や地域の教育環境を生かした支援、活動が始まっています。

2012年に学校運営協議会が設置されてから10年になろうとしています。今回の会議では、組織や仕組み、活動の課題などについても話し合われました。以下、今後の課題として引き続き協議していく内容です。

#### 【今後の課題】

- ・ 新型コロナウイルス感染症により、物事が大きく変わってきている中、子どもを真ん中に据えた学校と地域のネットワークの在り方について、これまでの当協議会の実績を踏まえて再検討していく。
- ・ 地域で子どもを育てる環境や人材について、広く情報を得ながら、子どもを育てる支援体制について考えていく。

次回の協議会日よりでは、活動の具体的な様子についてお伝えします。



カリキュラム検討会の様子